

学校教育の見直しによる社会状況の変化の予測

仙台第三高等学校 心理・教育・人文 F2班

社会の背景

現代社会では情報化やグローバル化、少子高齢化などの急速な社会状況の変化に対応できないことや、大学全入時代（全員が大学に入学できる時代）に突入したことが原因で次のような社会問題が起こっている

- ・経済の低成長
- ・現在教育を受けている人が社会に出たときに変化に対応できず負担増加
- ・就職率の低下

このような社会から抜け出す方法

労働環境の改善 外交政策

学校教育の見直し

教育の問題点と改善策

以前にも学校教育の見直しをし、ゆとり教育が行われた
ゆとり教育は自分で物事を考える力や豊かな人間性、自立する能力を養うために導入された制度である
結果、それらを養うことができたが、国際的にみて学習意欲や学力が低下した
このことから目的に合った制度を導入しなくてはマイナス面の影響が大きくなる可能性がある
したがって、今の教育の現状から確認する必要がある

まず、今の教育の問題点として何が挙げられるのだろうか

- ・プログラミング教育や英語教育が不十分
- ・知識基盤の教育を続けている→時代錯誤
- ・授業の目的が不鮮明
- ・教育機関が充実していない
- ・教育格差

改善策	具体例
小学校での英語教育の普及	2020年から小学校で外国語が教科に
PCを使った近代的な授業	プログラミングの授業 算数、理科におけるタブレット端末の使用 Wi-Fiの設置
生徒が主体性を持つ活発な授業	アクティブラーニング 班活動、調べ学習
世界情勢を学ぶ機会を設ける	社会科目の充実 →貧困地域の現状、諸外国と日本との関係を学ぶ
近隣の公共施設（図書館や体育館）と交流を持つ	公共施設のイベントへの参加 地域の活性化

表1)教育の問題点と改善策

結論

現代社会では様々な問題が深刻化しており、その原因の一つとして学校教育に注目して調査を行った
その結果、教育にはまだまだ改善すべき点があり、このような改善策の実施により社会の変革が可能であることが分かった

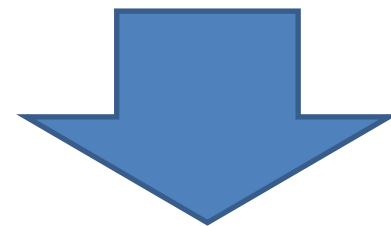
- ・対応力のある人が営む社会になれば、暮らしはよりよくなる
- ・多様性を獲得することができる

教育の改善は必要不可欠である

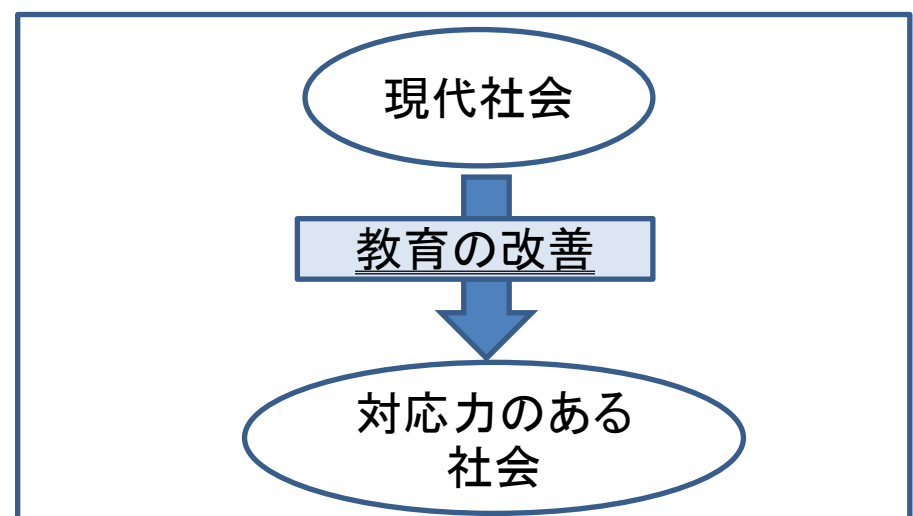
社会の変化

2で挙げたような改善策を実施することで社会はどのように変化するのだろうか

- ・海外企業やIT事業などに対応できる人材の育成
→グローバル化や情報化に対応
- ・限られた視野に絞らない
多くの観点から思考することができる
→問題に対して最善の答えを導く力
- ・学んだことをうまくいかせる
→自分の専門分野における社会貢献
役割分担
興味を持ったことを職業にできる



先行きが予測できる社会



参考文献

- 日本社会の直面する変化や課題と今後の生活保障のあり方 <https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/12/dl/1-06.pdf> (18.07.28参照)
2030年の日本が直面する構造的課題 <https://www.nri.com/~media/PDF/jp/opinion/teiki/chitekishisan/cs201504/cs20150403.pdf> (18.07.28参照)
文部科学省 2030年の社会と子供たちの未来 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryu/attach/1364310.htm (18.09.21参照)
ゆとり教育の内容 <http://www.donano-yutori.com> (18.10.12参照)